BS420383-04
2012 年 6 月 4 日

お客様各位

株式会社アサカ
技術部サポートセンター
金丸裕美

「うるう秒」時刻補正についてのご案内

拝啓

ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度総務省および独立行政法人情報通信研究機構から平成 24 年(2012 年) 7 月 1 日に、3 年半ぶりに「うるう秒」調整が行われるとの発表がなされました。 7 月 1 日午前 8 時 59 分 59 秒と午前 9 時 00 分 00 秒の間に「8 時 59 分 60 秒」が挿入されます。
ご愛顧いただいております下記製品およびシステムにつきましては親時計装置の「1 秒パルス」を受信して時刻管理に利用している関係で「うるう秒」挿入においてシステム動作や時刻表示に影響を受ける場合もございます。つきましては該当製品についてご案内するとともに、補正が必要な場合の留意点を合わせてご案内いたします。

敬具

記

１．うるう秒の影響

親時計装置のタイプにより与える影響が異なります。

1）親時計装置が、1秒パルスの周期を補正期間中延ばします。例えば10mSづつのばして100秒で1秒加算する等でうるう秒補正を行なうような装置（自動補正タイプ）の場合は、送出システムにおいて一部影響があります。

2）親時計装置がうるう秒自動補正タイプではなく、手動または単純に1秒加算でうるう秒の補正を行なうタイプの場合は、弊社装置側も手動で調整を行なう必要があります。

3）NTPサーバに同期のシステムに関しては、NTPサーバが校正されることにより、基本的にシステムを操作する必要はありません。補正期間が問題になる場合は、手動による補正をお願いいたします。

２． 関連する機種およびシステムについて

	親時計装置による影響・補正有無	
	1）自動補正タイプ	2）手動補正タイプ
ACL-2000 送出ｼｽﾃﾑ	影響あり	影響あり 端末手動補正必要
ACL-400 送出ｼｽﾃﾑ	影響あり	影響あり 端末手動補正必要
ADR-200 送出ｼｽﾃﾑ	影響あり	影響あり 端末手動補正必要
EA-100/110/200/ AEA-250	前面パネル手動補正必要	前面パネル手動補正必要
ER-100/110	前面パネル手動補正必要	前面パネル手動補正必要
ER-200/ AER-250	問題ありません	前面パネル手動補正必要
CM受信確認ｼｽﾃﾑ（秒ﾊﾟﾙｽ）	問題ありません	収集サーバ手動補正必要
CM受信確認ｼｽﾃﾑ （NTP サーバ補正）	問題ありません	問題ありません
緊急オーディオシステム （NTPサーバ補正）	問題ありません	問題ありません
ALR-80/81H （秒パルス）	問題ありません	前面パネル手動補正必要
ALR-80/81H 同期信号(B.B、3値 SYNC)補正	前面パネル手動補正必要	前面パネル手動補正必要
ASR-80/81H	問題ありません	前面パネル手動補正必要

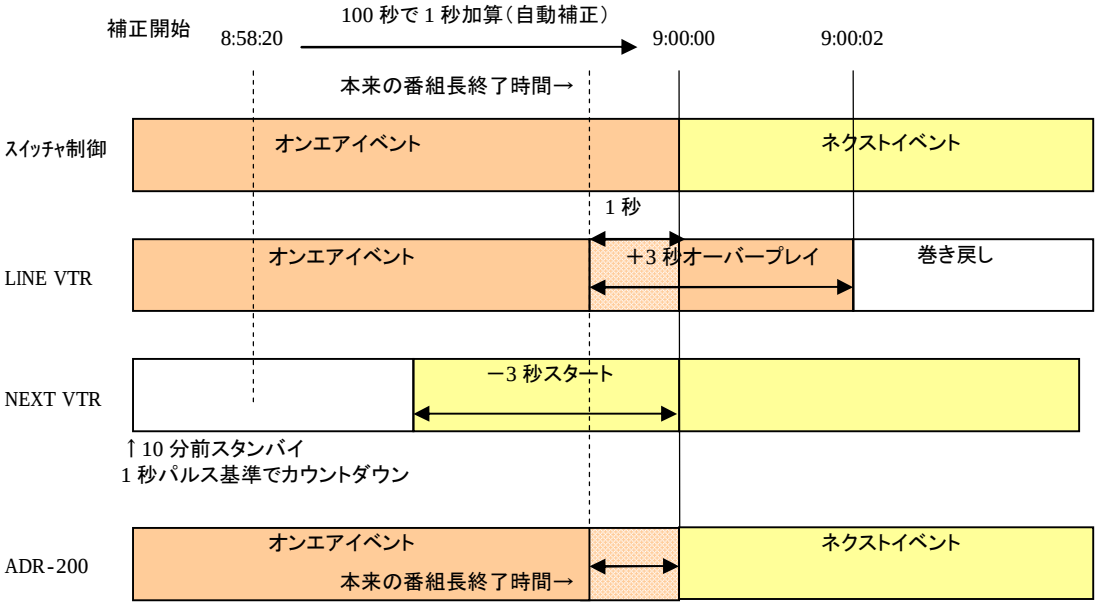
３．ACL-2000/ACL-400/ADR-200 システムの影響内容

ACU-60/70を使用した送出システムのVTRイベントおよびADR-200イベントは次のような影響があります。

送出中に親時計の時間補正（自動補正）が行われた場合、送出中素材についてはスイッチャ切替タイミングに対して、映像が1秒足りない状態になります。本来の素材長にオーバープレイ最大1秒分が本線映像として送出されます。

ADR-200の場合は送出中の素材長終了時の画像（STOP状態）の1秒分が本線映像として送出されます。

ACU-60/70 制御説明※1



4. ACL-2000/ACL-400/ADR-200 システムの手動補正方法

親時計が手動補正の場合は、コントローラの種別（ACU-50, ACU60/70）による方法が異なりますので下記を参照して下さい。
時刻補正を行わない場合、補正後の親時計より1秒早く送出動作が行われることになります。

1）ACU-50を使用した送出端末の時刻補正

オンエア中は出来ません。
オンエア終了後にシステムの再立ち上げで時刻の再設定を行なって下さい。
再設定作業は親時計装置の補正が終了したのちにお願いします。
【該当システム】
ACL-2000　番組送出システム　ACU-50制御
ACL-400　番組送出システム　ACU-50制御

2）ACU-60/70を使用した送出端末の時刻補正

端末の【日時設定】メニューで補正をお願いします。
補正後の本体の再立ち上げは必要ありません。
補正作業は親時計装置の補正が完了したのちにお願いします。
送出中に補正行う場合は※1の影響があります。
【該当システム】
ACL-2000　番組送出システム　ACU-60/70制御
ACL-400　番組送出システム　ACU-60/70制御
ADR-200　送出システム　ACU-60制御

５．EA-100/110/200/ AEA-250 、ER-100/110/200/ AER-250 の補正方法

本体前面パネルの時刻調整ボタン（メニュー）で時刻補正をお願いします。
補正後の本体の再立ち上げは必要ありません。
時刻補正を行わない場合は、前面パネルの時刻表示が補正後の親時計より1秒早く表示されます。モニタはログに関する時刻表示（印字）が補正後の親時計より1秒早い時刻になります。

【該当製品】
緊急警報信号発生器　EA-100/110/200/ AEA-250
緊急警報信号モニタ　 ER-100/110/200/ AER-250

ER-200/ AER-250 の場合は、親時計が手動補正タイプの場合のみ補正が必要です。

６．CM 受信確認システムの補正方法

n　秒パルス仕様　親時計手動補正タイプ

手動にて収集サーバの時刻補正をお願いします。
時刻補正の方法は、クイックマニュアルもしくは取扱説明書をご参照ください。

時刻補正を行わない場合、ログ時刻が補正後の親時計より1秒早い時刻になります。

n　秒パルス仕様　親時計自動補正タイプ

親時計の時刻に収集サーバ内部時計を合わせ込むまでに時間差がありますが、自動補正されます。自動補正期間が問題となる場合は、手動にて収集サーバの時刻補正をお願いします。

収集サーバを手動補正する場合は、収集サーバのサービスを停止する必要がありますのでご注意下さい。

n　NTP サーバ受信仕様

NTPサーバでの時間補正が行われておりますシステムでは、NTPサーバに自動的に同期しますので収集サーバの手動時刻補正の必要はありません。
ただし、NTP サーバ側の時刻補正をしてから収集サーバの時刻補正が完了するまでは約 20 分間掛かることがあります。これは、収集サーバから NTP サーバへの時刻同期が、通常約 20 分に 1 回行われるためです。
この時刻補正が完了するまでの期間が問題となる場合は、収集サーバの時刻補正を手動で行ってください。手動補正の方法は、クイックマニュアルもしくは取扱説明書をご参照下さい。

収集サーバを手動補正する場合は、収集サーバのサービスを停止する必要がありますのでご注意下さい。

７．　緊急オーディオシステム

NTPサーバにより内部時計が校正されます。NTPサーバの校正がされれば問題はありません。時刻情報は動作ログのタイムスタンプに利用されているのみです。

8.　ALR-80/81H　４系統ループレコーダー

n　秒パルス仕様　親時計自動補正タイプ

親時計がうるう秒を10秒以上かけて補正するタイプの場合、自動的に補正されます。

n　秒パルス仕様　親時計手動補正タイプ

手動にて前面パネルより時刻補正をお願いします。
時刻補正の方法は、取扱説明書をご参照ください。

時刻補正を行わない場合、内部時刻が補正後の親時計より1秒早い時刻になります。

n　秒パルスを使わず、同期信号（B.B、3値 SYNC）にて秒校正している場合

手動にて前面パネルより時刻補正をお願いします。
時刻補正の方法は、取扱説明書 「12. 時刻補正」をご参照ください。
（ALR-80HはP40ページ、ALR－81HはP41ページにございます。）

時刻補正を行わない場合、内部時刻が補正後の親時計より1秒早い時刻になります。

9.　ASR-80/81H　ステップバックレコーダー

n　秒パルス仕様　親時計自動補正タイプ

自動的に補正されます。（300mSEC～2500mSEC 幅の秒パルスに対応）

n　秒パルス仕様　親時計手動補正タイプ

手動にて前面パネルより時刻補正をお願いします。
時刻補正の方法は、取扱説明書「7. 2. 現在時間設定」をご参照ください。
（ASR-80HはP16ページ、ASR－81HはP18ページにございます。）

時刻補正を行わない場合、内部時刻が補正後の親時計より1秒早い時刻になります。

以上